

ふ う ト モ

2

2



0

0



7

W

7

8

L

7



vol.
24

— 変身
しちゃうよ! —

特集

知りたい! —
幼児科の“その後”

ヤマハ音楽教室幼児科
保護者向け情報誌

MESSAGE
FROM
PURATOMO



ヤマハ音楽教室の願い

人は落ち込んでいるときや、悲しいとき、音楽に救われます。

また、嬉しいときや楽しいときは、音楽がその気持ちをさらに盛り上げてくれます。

そんな「音楽」のすばらしさを伝えたい、という気持ちから

ヤマハ音楽教室では、教材やカリキュラム、講師の指導法についても、常にこだわりをもって研究・開発を進めてきました。

幼児期からヤマハ音楽教室に通うことで身につけた音感をベースに、音楽を楽しめるようになってほしい。

大人になっても変わらずに楽しんでほしい。

ヤマハ音楽教室は、いつもそういう気持ちで音楽教育に取り組んでいます。

ぶらトモってなあに？

みなさん、こんにちは。『ぶらトモ』は幼児科のお母さんお父さんたちと身近になりたい、仲よくなりたいという想いで2014年に発行されました。『『ぶらいまりー』のともだち』だから略して『ぶらトモ』です。よろしくお願いします！



幼少期から音楽を 続けさせてくれた親に感謝

PRIMARY
FRIENDS
OB&OG
INTERVIEW

ヤマハ音楽教室 OB & OG インタビュー もりもりもとさん

ヤバイTシャツ屋さん・ドラマー

エレクトーンから ドラムへ変更

2歳上のお姉さんの影響で、3歳からヤマハ音楽教室に通うようになったという、もりもりもとさん（以下もりもとさん）。「小さいころは、楽しんでた記憶しかなかった」といいますが、「練習は嫌いでした」とも。幼児科からジュニア科へ進み、レッスン後、ドラム教室を楽しそうと眺めていると、お母さんから「ドラムにする？」と提案され、あっさりドラムに変更。小さいころからもりもとさん

は打楽器が好きで、家にあるバケツを並べてドラムのようにして遊んでいたそうで、ドラム教室は中学3年生まで続けました。

中高は吹奏楽部と軽音楽部に

中学入学後は吹奏楽部に入部。「ヤマハで、人前で演奏する楽しさを経験したのも大きな理由だった」というもりもとさんは、体験入部で、いろんな楽器を試したときに、いちばんしっくりきたトランペットを担当。エレクトーンをやっていたことが楽譜を読んだり、音程をつかむこ

MORI MORIMOTO

*

1993年生まれ。静岡県浜松市出身。大阪芸術大学芸術計画学科卒業。大学在学中に、こやまとくや、しばたありぼと3ピースバンド「ヤバイTシャツ屋さん」を結成。在学中にメジャーデビュー。大阪を拠点に活動。2020年の最新アルバム「You need the Tank-top」はオリコンウィークリーアルバムチャートで1位を獲得。
<http://yabaitshirtsyan.com/>



ヤバイTシャツ屋さん、"スペインのひみつ" ONE-MAN TOUR 2019 at Zepp Tokyoでの1コマ。



PRIMARY

FRIENDS

OB&OG

INTERVIEW

とに役立ったといえます。

とはいえ、「とにかく下手くそ。幼稚園の時に前歯を遊具でぶつけ、前歯がゆがんでいたのが原因で、音楽人生で一番つらい3年間でした」。泣きながら学校から帰ったこともあったとか。そして高校は軽音楽部に。

「中学生の時、ヤマハで大人の皆さんと一緒にバンド形式で発表会をしたのが楽しかったので、高校に入ったら絶対バンドをやるうと、中学の時から初心者向けのギターを買ってもらい、家でも弾いていたんです」。

アニメ『けいおん!』の影響で、入部者が殺到し、面接があったものの「ドラム、ピアノ、トランペットができて、ギターとベースも触ったことあります」とアピールし、無事入部。

軽音学部では、洋楽、邦楽とジャンルを問わず演奏。次第に

他校の生徒と一緒に組んで週末はライブハウスで演奏するように。そして大阪芸術大学に進学。

「両親は、音楽でプロになることを応援してくれましたが、僕自身が安定気質で、1回大学に行ったほうがいいと思い、芸術計画学科に進学しました」。

大学の新生歓迎会でメンバーと出会う

大学入学後、音楽サークルの新生歓迎のお花見で、ガリガリで、ちょっと貧相な格好の髪の毛の長い先輩から、「今度コピーバンドするからたいてよ」と声をかけられたのですが、それがボーカルのこやまさんでした。その後、「ヤバイTシャツ屋さん」というバンドを組んで学園祭に出たい」と言われて、同級生のしばたさんと3人で大学2年の時に本格的に活動開始。

学園祭だけの活動のつもりで

したが、ライブ映像をネットに上げていたところ、ライブハウスの方から声がかかり、大阪のライブハウスで演奏するように。

「最初は全然人気もなく、冷たい目で見られている期間が長かった」そうですが、ライブハウスの店長が、「絶対続けたほうがいい」と、勝手に『出れんの!? サマソニ!』というオーディションに応募。ネット投票

やライブの審査を経て賞を受賞後、さらに店長がまたもや勝手に次の目標として『eo Music TRY』という関西で行われる大きなコンテストに応募。そこで優勝すると、その審査員のレコード会社の社員の方が、大阪のライブに契約書を持って現れたとか。

「当時、本当に趣味で楽しくバンド活動をしていただけなので、

絶対無理!とは思いましたが、みんなで話し合い、挑戦してみようと、2016年にメジャーデビューをしました」。

音楽を楽しめる環境を与えてくれた両親に感謝

「音楽が大好きなので、今、こうして作品を発表したり、演奏する機会がたくさんあるのは本当に幸せなことだと思います」というもりもとさん。将来は、紅白に出場し、「国民的バンド」となるのがバンドの目標だそう。「個人的には地元浜松市で大規模ライブがしたいですね」とも。「僕は練習嫌いでしたが、ヤマハ音楽教室に通わせてくれた両親には、今はとても感謝しています。純粋に音楽が楽しめる環境を幼少期に与えてくれたことが、今の自分を大きく形成しています」。

特集

知りたい!

幼児科の“その後”



幼児科修了後の児童期には全部で5コースの用意があります。

それぞれのコースに進むと3年後にどうなるのか?

そしてそれぞれのコースの特色をご紹介します!



自分から作曲などの
課題にも取り組むように。

京都府 十字屋 山田育音さん(小4) 映理子さん 道存さん



歌
が大好きだったのがヤマ
ハに通うきっかけです。

ジュニア専門コースにした
のは、幼児科のときの先生から
「のびのびとした表現力をさら
に伸ばすには、ジュニア専門コー
スがいいのでは」とすすめられ
たため。

自分の思い入れが強く、時に先
生のアドバイスを受け入れられ
ず、本人の中で葛藤があるよう
で、見ているこちらがはらはらし
たこともありました。

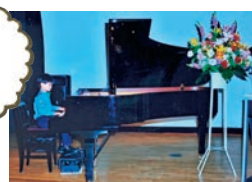
3年目になってからは、そんな
ことも減り、親が声をかけなく
ても、自ら譜面と鍵盤に向かい、自
分の曲を完成するようになってき
たのには、成長を感じています。将来
の夢は歌手になることだそう。



※写真協力=十字屋 久内美紀先生とジュニア専門コースのみなさん



曲を
つくったり!



お
もちやのピアノが大好き
だったのでヤマハに通う
ことに。幼児科の時の思い出と
いえばコンサートするとき、親の緊
張をよそに本人がにこにこ演奏
していたことです。

ジュニア総合コースに決めた
のは、本人とも相談し、「グルー
プも個人も両方できる」という
そのバランスの良さ。レッスン
ではアレンジの仕方をほめられ
ることもあり、本人の自信にも
なっているようです。

幼児科のときは親と一緒にし
たが、今は教材のCDを聴きな
がら、練習したり、できないとこ
ろは何度も練習したり、自分で
考えながら工夫したりする力も
育っていると感じています。



アレンジ力も確実に
ついてきています。

北海道 ヤマハミュージックリテイリング北見店 佐藤あみ香さん(小3) 美香さん



※写真協力=ヤマハミュージックリテイリング北見店 鈴木純子先生とジュニア総合コースのみなさん

ジュニア専門コース

グループ + 個人

より専門的なレッスンを受けたい方のためのコースで、テキストはコース専用教材を使用。グループレッスンと個人レッスンの併用で、演奏・創作ともにハイレベルな音楽力を身につけていきます。進級のためのオーディションあり。



ジュニア総合コース

グループ + 個人

グループレッスンと個人レッスン（月1回、2回、3回から選択）の併用で、総合音楽力をさらに伸ばし、鍵盤演奏力、アレンジ力を磨いていきます。個人レッスンでは、ピアノまたはエレクトーンを選択して進めていきます。



ジュニアアンサンブルコース

グループ

グループレッスンのみ。レパートリーやアンサンブルなどを通じて、総合音楽力を伸ばしていきます。テキストはジュニア総合コースと同じもの（レパートリーはコース専用教材）を使い、ゆとりのある進度で進みます。



ジュニアピアノコース

個人

個人レッスンのみのコース。マンツーマンのため、先生と相談しながら自分のペースでレッスンを受けることができます。ジャンルを超えた幅広いレパートリーを学びつつ、ピアノの演奏力とアレンジ力を身につけます。



ジュニアエレクトーンコース

個人 or グループ

個人またはグループ（3人以上生徒さんが集まった場合）でのレッスンが選べるコース。エレクトーンならではの多彩な音色を学びながら、自分のペースで、豊かな表現力とアレンジ力を身につけていくことができます。



児童期では
こんなコースで
こんな力がつきます。

幼児科を修了したあとには5つのコースがありますがそれぞれがどのようなコースなのかを先生にお伺いしました。



ヤマハ目黒センター
徳富真琴先生

幼児科で培った力は、児童期で花開きます。長く続けられるコースを選んでくださいね。

*上記5コースにさらに個人レッスンを追加できるのがオプションレッスンです。演奏力向上やグレートの取得などにも対応します。
*各コースの開設状況は、会場によって異なります。



幼稚園に入る前に、「何かやってみたいね」と仲良しのお友達とヤマハの体験レッスンを受けたのが、幼児科に通うきっかけです。幼児科では、自分が思うように弾けないと泣いたりすることもありました。今はそんなこともなく、家でも自分で楽器に向かって練習しています。毎日の練習が習慣化したのは、小学生になってからです。その姿に成長を感じます。

ジュニアアンサンブルコースにしたのは、本人が、各自がパートに分かれて曲を演奏するまさにアンサンブルが好きだからです。



*写真協力 京浜楽器 菅原麻衣先生
とジュニアアンサンブルコースのみなさん



神奈川県 京浜楽器 日沼未羽さん（小3） 恵実さん



アンサンブルが大好き！
自宅練習も習慣化。



自分のペースで どんどん進んでいます。



愛知県 第一楽器豊田
三村心結さん（小3） 文恵さん



自分のペースで進められることと、レパートリーをはじめ、さまざまな曲をたくさん弾けることに魅力を感じてこのコースに決めました。楽譜がなくても音を聴いただけでその曲を弾いたり、右手のメロディーに合わせて左手の和音や足鍵盤を自分で探している姿を見ると、成長を感じます。



*写真協力＝第一楽器豊田 馬淵雅菜先生

演奏する楽しさを より感じているよう。



長野県 ミュージックプラザオグチ
岡本ひなたさん（小3） 智恵美さん



*写真協力＝ミュージックプラザオグチ 千国和代先生

自分のペースで、練習量なども曲や週によってまちまちなので、本人のペースに合わせたレッスンの方がいいかな？というところでジュニアピアノコースにしました。幼児科時代は、音を出すということが楽しかったようですが、今は、それが曲を弾き出す楽しさに変わってきたようです。



レッスンで歌うことが難しい状況の中、誕生したのが、この家庭学習サポート動画です。ヤマハ音楽教室公式サイト上に、『ぶらりー』①～④までの曲が動画で掲載されています。

レッスンの中でも先生から「今週とりあげた曲をあつて見てみてね!」と言われることも多いでしょう。このサポート動画は、繰り返し自宅で見てもらうことで、レッスンの復習をしてもらうものです。特にレッスンで歌うことのできない曲は、できるだけ動画を見ながら歌ってもらおうとより音楽の力がついて効果的です。



先生の歌をお手本に!



鍵盤練習の動画もあります。

家庭学習で動画を 活用しよう!



動画のポイント

- レッスンで学んだことを繰り返せる!
- レッスンを思い出すきっかけになる!
- 次のレッスンへの理解が深まる!
- 何度も歌うことができる!
- 親子で楽しめる!

アプリ“オンブモン”がバージョンアップ!

スマートフォン向けアプリ「たのしくれんしゅう“オンブモン”」に、『ぶらりー』②&④の内容が追加されます(11月末予定)! また、サービス改善へ向けて、ユーザーアンケート(2020年12月24日まで)も実施中。ご協力いただいた方全員に、「オンブモン&ぶつぷるオリジナル壁紙」をプレゼント!アンケートフォームは右側より。



Adviser



埼玉県 ニコニコ堂
小山菜津美先生

1時間のレッスンで「音楽って楽しい!」と思ってもらえるよう心がけているそう。自身もヤマハ出身。



家庭学習をサポートする動画の活用法についてのご質問にお答えします!

家で子どもに集中して 見てもらうためには?



実際に、お子さんが受けているレッスンに関連づけるといいでしょう。「先生の言っていたことと同じだね」「先生もこうやって弾いていたよね」「先生の伴奏と同じだね」といった声をお子さんにかけるといいでしょう。



1週間の間にどれくらい見ればいいですか?
毎日見てもらうのが理想ですが、あくまでこの動画はレッスンの補佐的なツール。レッスンで習った曲や、その週のレッスンでの宿題に関連させて「あ、そういう動画にも同じ曲があるよね」といった感覚で見てもらえるといいと思います。

家庭学習 サポート動画 活用法! Q & A

保護者と一緒に
見た方が
いいでしょうか?



ぜひ一緒に見てほしいとは思いますが、マストではありません。ただ一緒に見てもらうことで、保護者の方のレッスンに対する理解が深まったり、音楽のことがよく分かるきっかけにはなると思います。



この動画は、繰り返し見てもらうことで、レッスンの復習をすることができ、自宅で動画を見ることで、前回のレッスンの内容を思い出すひとつのきっかけにもなります。次のレッスンにもつながってもらえると思います。

サポート動画を見ることには
どんな効果が?



幼児科での 保護者の役割は?

とにかく保護者の方は、お子さんのサポーターになってあげることです。できるようになったことを一緒に喜んだり、お子さんのスケジュール管理のサポートをしたり。お子さんの日々の姿に寄り添ってあげることが大事だと思います。



THE WORLD OF
CHILDREN'S SONGS

"きらきらぼし"

ILLUSTRATED
BY
TAKU TASHIRO

SCORE

"ワルツ de きらきらぼし"

作曲：フランス民謡
編曲：清澤久恵

※メロディーパートは、1オクターブ^{うえ}で弾きましょう。

Tempo di valse

メロディー

伴奏

8va

mf

mf

mp

1

C F C G7 C Dm G7 C

mp

5

3

C G7 C G7 C A7 Dm G7 C D7 G

mf

mf

1

C F C A7 Dm G7 E7 Am Dm G7 C

How To Play こうやって 遊ぼう！

80年代から人気のイラストレーター、
田代卓さんによる描き下ろしのイラストです。
ワルツの3拍子のリズムに乗って
素敵に歌ったり、弾いたりしてみましょう。

LYRICS

作詞：武鹿悦子

"きらきらぼし"

きらきらひかる おそらのほしよ

まばたきしては みんなをみてる

きらきらひかる おそらのほしよ

きらきらひかる おそらのほしよ

みんなのうたが とどくといいな

きらきらひかる おそらのほしよ

幼児科では、「聴く」↓「歌う」↓「弾く」という流れを通して曲を学んでいきます。先生の真似をすることで、音楽を覚えていきますので、楽譜がなくても1曲弾けるようになります。

A. 楽譜がなくても弾けるようになるからです。

Q. ぶらいまリーの中に楽譜のない曲があるのはなぜでしょうか？

(広島県 ほのりさん)

Q & A ABOUT YAMAHA
ヤマハ音楽教室
にまつわる
そぼくな疑問



お子さまの前向きな気持ちは嬉しいことですが、自分なりの弾き方で弾いてしまうと、後で直すことが難しくなり、レッスンで混乱

A. 習った曲を繰り返し弾くこと。レパートリーを続けて弾くなど、ゲーム性をもたせても。

Q. 子どもが先の曲を予習したがつて困っています。復習でおすすめる方法があれば教えて下さい。

(山梨県 しほまみママさん)

楽譜がなくても弾けるよ！



また弾けるようになってからも楽しめるよう、CD音源では、テンポやメロディーなどにさまざまな工夫をしています。

ご意見・ご感想お気軽に
お問い合わせください

ヤマハ音楽教室

お客様コミュニケーションセンター

0570-075808

月曜～金曜 9:30～17:30
(祝日・年末年始・夏季休業を除く)

※「ヤマハ音楽教室ホームページ」からも
お問い合わせを受け付けています。

続けて何曲
弾けるかな



してしまう可能性もあります。そのために幼児科では予習ではなく、復習をお願いをしています。弾く事に意欲的であれば、これまで習った曲を繰り返し弾くことをおすすめします。弾けるようになった曲をさらに弾くことで、音感の確実な定着につながります。レパートリーを順番通りに止まらずに弾いてみるなど、ゲーム性を持たせることも効果的です。

INFORMATION

ご紹介キャンペーン実施中！

ヤマハ音楽教室では、お友達や兄弟の紹介キャンペーンを行っています。ご紹介いただいた方が入会すると「ぶっぶるとおともだちぬりえブック」をプレゼントします。紹介キャンペーンの詳細については、お通いのヤマハ音楽教室までお問い合わせください。



*会場により実施していない場合もあります。

ぶっぶると
たくさんが



PURATOMO SQUARE

ぶらトモひろば



「ぶらトモひろば」では、全国の生徒のみんなや、お母さん・お父さんたちからのすてきなお便りを紹介したりヤマハ音楽教室にまつわる素朴な疑問に一生懸命答えたりするよ。もっとわたしたちのことを知ってほしいから。

お腹の中にいたときから、お姉ちゃんの付き添いでヤマハに通っている一歳の娘。歌詞もドレミも、体を揺らして、気がつくところの生徒さんより大熱唱！かわいいうって言われるけど、母は恥ずかしい〜！（愛知県 メグミママさん）

いちばんのお手本だね



毎日の練習ペースが乱れてしまい、出来ない↓面白くない↓練習しないという負のスパイラルに。どうにか脱出しなければ……。（大阪府 じゅんじゅんさん）

そういうときもあるさ



新しいことに挑戦しようとする構えてしまうわが子は、新しい曲は泣きながら練習すること。でも、ふとできるようになる瞬間が訪れるとにっこり。その笑顔を楽しみに見守ろうと思います。

(秋田県 ゆめママさん)

初めはドキドキ
できるとうれし



自宅練習をしたがらない娘でしたが、クラスコンサートの提案をされてから、張り切って練習するように。今では、来客がくるたびに披露して、本人も楽しんでいきます。（愛知県 ベルママさん）

うちでも
コンサート♪



普段はパパっ子の娘ですが、なぜかヤマハへは「ママと行く！」。先日、強引にパパと行かせたら、「パパとママ、交代がいい！」と、隔週で付き添うことに。夫婦それぞれの視点で見守ることができ、家族のコミュニケーションが増えました。（愛知県 うーたんママ）

パパとママ
二人とも大好き



今回は連載初の「大好きばあば」の登場です。山梨県在住の千野ながさんは、3人の娘さんをヤマハ音楽教室に通わせ、それぞれのお孫さんたちも現在ヤマハに！写真は3女の横森真紗子さんの長女横森志歩さん（6歳）で、現在幼児科2年目に在籍中。「我が家に遊びに来ては、ピアノを弾いてくれます。ヤマハは、心が豊かに育つのはもちろん、歌が好きになるのもよいところだと思います」。

MY DEAREST FAMILY
ぼくの私の
大好き
ファミリー

全国の
ファミリー
募集中！



HAND CRAFT

作ってみよう！

〔第四回〕葉っぱひらひら

上から落とすと
くるくる回りながら
落ちていくよ！

キリトリ
山折り
谷折り
.....

〈作り方〉

①



折りたたむ。

②

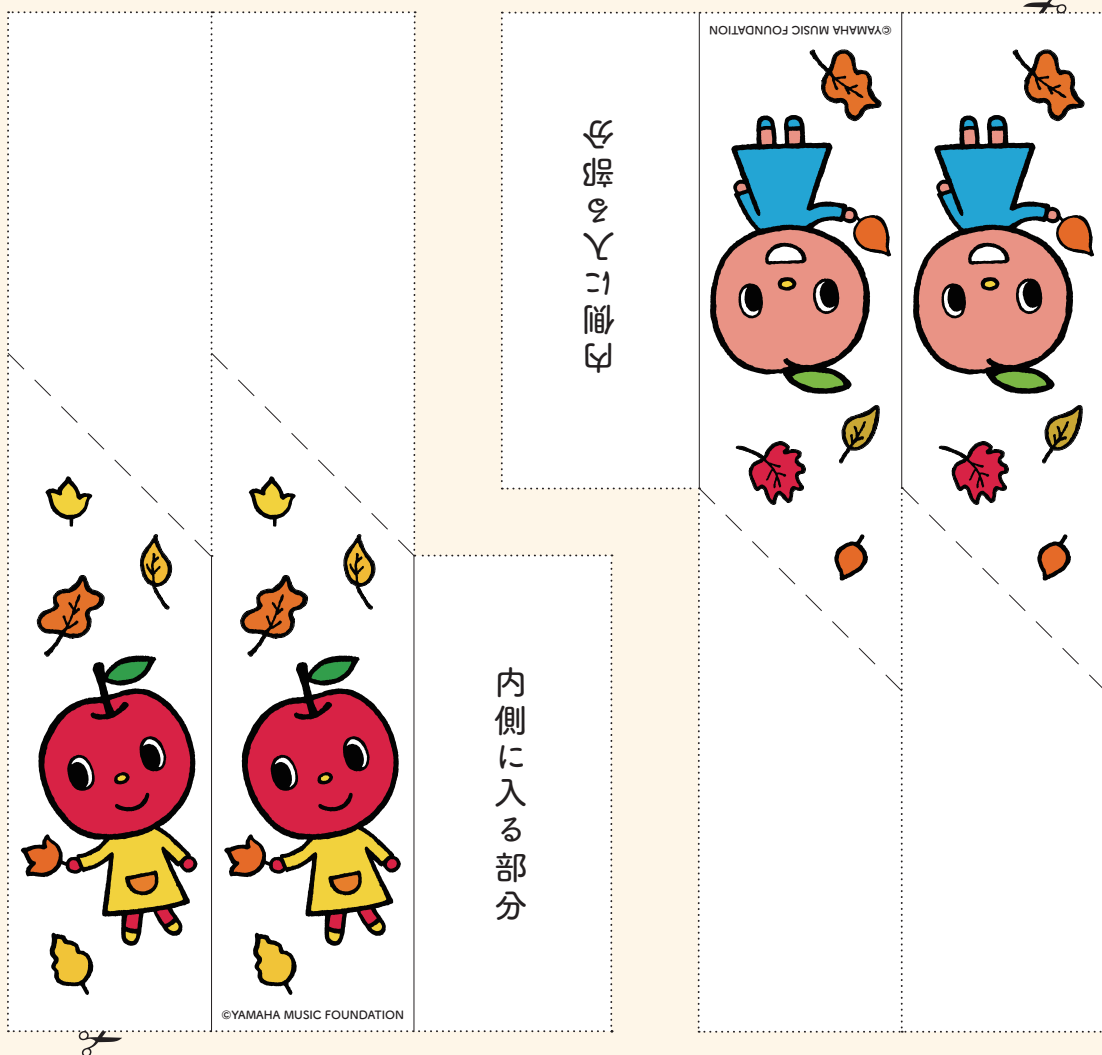


ひっくり返して下半分をのりづけする。

作って
遊ぼう！



完成！



ONPYU STORY

おんぴゅだよ
作：やばい



作：やばい

主婦。7歳の男の子のママ。漫画『おしゅしだよ』(KADOKAWA)が話題に。



YAMAHA TREASURE JOC

JOC は
ヤマハの宝物

〔第一回〕

JOC (ジュニアオリジナルコンサート) って何？

ヤマハ音楽教室では、子どもたちの聴く、歌う、弾くという力を育てることを大切にしています。そしてその力がついた子どもたちが自分の曲をつくり始めるのはごく自然なことだとも考えています。今回ご紹介するJOCとは、ジュニアオリジナルコンサートのことで、1972年に始まった活動です。JOCというと、何だか敷居が高いと感じる人もいますが、JOCは子どもたちの思いが詰まったオンリーワンのオリジナルの発表の場であり、それを楽しむ場です。作曲の理論的な方法は習っていないのに、子どもたちが自由に曲をつくりだす、そしてその曲をみんなで楽しむ場、それがJOCです。歴史は現在まで脈々と受け継がれ、来年には50周年を迎えます。



(上) 1972年に行われた第1回JOCの様子。(下) 1981年にはNYの国連でも開催。



歴史が
あるんだね！



*「隣の音楽教室」はしばらくお休みします。

HUMOROUS POEM

おもしろヤマハ川柳

*

テーマ

「子育てあるある」



そ
お
つ
と
ね

弱
く
弾
け
な
い

ピ
ア
ニ
ッ
シ
モ

和歌山県
ヒロさん

将
来
は

博
士
で
パ
ン
屋
の

ピ
ア
ニ
ス
ト
!

熊本県
はるかさん

ピ
ア
ノ
の
日

ド
レ
ス
コ
ー
ド
は

ワ
ン
ピ
ー
ス

千葉県
雪月花さん

編集後記

コロナウイルスの影響で、音楽を聞く量が倍になりました。(アートディレクター 寄藤文平)／すっかりご無沙汰してしまいましたが、再開です！こんなご時世ですますます音楽の力を感じずにはられません。早くライブとかにも行きたい♪(編集&ライター長谷川華)／今年は『ぶらトモ』をお届けすることが難しい時期もありましたが、またこうしてみなさんとの繋がりを持てることを嬉しく思います。これからも音楽と共に『ぶらトモ』をよろしくお願いします。(ヤマハ音楽振興会ぶらトモ編集部F)

ぶらトモ Vol.24 2020 冬 令和2年12月1日発行 通算24号
特集イラスト：北谷彩夏

撮影：森安照（もりもりもとさんインタビュー部分）

工作制作：丸林佐和子、石川聡（イラスト）

アートディレクション：寄藤文平

デザイン：三浦裕一朗、村瀬良、周佐直彰（Mo-Green Co., Ltd.）、
古屋郁美（文平銀座）

文：下関崇子、長谷川華

企画・編集協力：孫のカククリエイティブ（株式会社トド・プレス）、
長谷川華

印刷：大日本印刷株式会社

発行所：一般財団法人ヤマハ音楽振興会

〒153-8666 目黒区下目黒 3-24-22 ☎0570-075-808

発行人：大池真人

次号は
3月発行です



WANTED

『アンケート&お便り』募集！

『ぶらトモ Vol.24』の記事について、みなさんのご感想、ご意見を募集中です。『ぶらトモ』と一緒に作ってくれる「ぶらトモ隊」への応募もこちらから！

1. ヤマハ音楽教室や
子育てに関するエピソード
2. ヤマハ音楽教室にまつわるそばくな疑問
3. ぼくの私の大好きファミリー
4. 子育てあるある川柳

を募集しています。

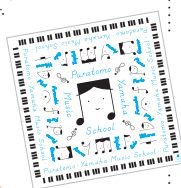
応募は以下のアドレスか QR コードから。

<https://jp.research.net/s/KBFPBST>

(応募は2021年2月末日まで)



全員に素敵な
バンドナプレゼント



お便りや
アンケート
は、この
袋に
入れて
送って
ください

【個人情報について】

いただいたお名前、ご住所、ご連絡先などは、誌面掲載のご連絡やプレゼントのお届けに必要な情報の確認に使用し、その他の目的では使用いたしません。